

農地を活かす運動の推進を

令和7年度府農委大会

大阪府農業会議は10月24日、令和7年度大阪府農業委員会大会を大阪市内・大阪国際交流センターで開き、農業委員会委員等約700人、一般消費者約120人が参加した。

中谷会長は開会あいさつで地域計画に関する国通知文(2面に関連記事)に触れ、「農業委員会組織は農地を守る社会的使命を担っており、日頃の農地利

用最適化活動はもとより、地域の協議の場への参画、目標地図の更新などに、地域の実情に応じて、是非ともご尽力いただきたい」と強く呼びかけた。

また、「おおさか農政アクションプラン」に基づき力強い大阪農業の実現や、農を活かした地域づくりを進めている大阪府に対しては、今後も引き続き、地域計画の実現等を通じた大阪農業の振興・発展のための指導・支援を要請した。

大阪府知事(原田環境農林水産部長代読)の祝辞では、大阪・関西万博を通じて大阪農業の魅力国内外にPRした旨の報告があった。また、地域計画



発行所
大阪府農業会議

大阪市中心区農人橋2-1-33
JAバンク大阪信連事務センター3階
電話 直通 06(6941)2701~2
http://www.agri-osaka.or.jp
発行人 中谷 清

年金の
お受け取りは
JAで

JAバンク大阪(JA/信連)

JAバンク大阪へ 検索

主な記事

- ◎農地利用最適化施策の推進を高槻市農委市長に意見提出……2面
- ◎組織化の先進事例を学ぶ滋賀県女性委員との意見交換……3面

の実現によって大阪農業のさらなる成長が見込まれるため、引き続き地域計画の実現への支援を行うとともに、大阪農業の振興にさらに力を入れていくことが述べられた。

続いて、金城大阪府議会議長、寺下大阪府農業協同組合中央会・各連合会会長が祝辞を述べた。

大会3議案を満場一致で採決

大会議長には辻豊能地区農業委員会連合会会長(豊中市農業委員会会長)が選出された。

議事では、第1号議案「地域計画の実現に関する要請決議」、第2号議案「食料・農業・農村基本計画に基づく施策の拡充に関する要請決議」、第3号議案「『農地を活かし、持続可能な大阪農業を創る運動』の強化に向けた申し合わせ決議」がそれぞれ満場一致で採択された。第2部では泉南市農業委員会

の立道智恵委員から、「泉南農業塾の取り組みについて」の実践報告があり(3面に報告要旨)、また、東京大学大学院農学生命科学研究科の鈴木宜弘特任教授が「コメ生産・流通の現状と課題」をテーマに講演した。

(田村)



辻議長(豊能地区連会長)

風速計

堺市内の田んぼの電柱にとまっているコウノトリの写真を農家から入手した。コウノトリで有名な兵庫豊岡

市内ではよく見る風景であるが、堺市内で確認できたことは驚きである。コウノトリは生態系が豊かな環境でないと生息できない。農地がもつ機能には、食料を生産する役割以外に洪水や土砂崩れを防ぐ機能、水源涵養や伝統文化を保存する機能など、様々な多面的機能がおり、農地の果たす役割・意義は計り知れない。その中でも生態系の保全に果たす役割は大きい。◆大阪府立環農水研生物多様性センターの幸田良介主任研究員が本紙において、農業は生物多様性の恵みを効率的に享受できる生業であると言われている。正に農地の果たす役割を的確に評価した言葉である。◆コメ不足時に農地の大切さを痛感したが、生産にとどまらず、農地の持つ多面的機能を再評価する必要があるのではないか。

(増山)